

平成 25 年度 大学職員情報化研究講習会 ～応用コース～第 2 分科会  
グループ討議内容について（グループ A）

A グループは各大学の現状や抱えている問題、「IR」「ナンバリング」「ラーニング・コモンズ」などの現状についての意見交換を中心にグループ討議を進めました。

○IR

各大学ともに実際に導入されているところは少なく、導入予定、もしくは今後の検討事案というところがほとんどでした。

IR の導入に際しては、専門部署の創設や専門職員の配置、システムの構築等解決すべき事案が多くある現状でありました。

しかし IR の重要性は各大学とも非常に感じておられる意見が多く見受けられました。

○ナンバリング

ナンバリングを導入しようとして実際に行動に移されている大学、次年度以降の早期の段階で導入しようとして計画されている大学、時期は未定であるが認証評価等の関係から導入が必要と感じておられる大学等、IR とともに各大学ともその必要性を強く感じておられる意見が多く見受けられました。

○ラーニング・コモンズ

すでに小規模ながら施設設置されている大学、図書館内ではあるが同様な施設を設置されている大学が数校ありました。施設設置（開設）はされているものの利用者数が少ないなどの意見もあり、ただ単に箱ものとしてのラーニング・コモンズではなく、実のある（授業科目との連携、アクティブ・ラーニングとの連携）ものとしてゆくための課題も浮き彫りになっていました。

○その他

他愛のない意見交換として、各大学の状況から教学面と事務面との両輪が難しく、教育改革、大学改革の名のもと日々苦心されている現状がすべての大学にあることが様々な意見を通して感じられた。

今回の A グループのグループ討議は 1 つのテーマに絞ることなく、フリーディスカッションという形であった。